

共同研究グループ活動報告（2024 年度）

芸術（アート）と物語の交雑／発信力

1. 講演会・研究会の開催

開催日：7 月 11 日（木）

会場：ZOOM開催

講演者・発表者（所属）：仲田恭子（アートひかり）

演題：演劇をつくりつづけるⅡ——演出・身体・地域

<http://human.kanagawa-u.ac.jp/kenkyu/info/index.html>

2. シンポジウムの開催

なし

3. 活動内容

本グループにおいては、以下の3点の活動が行われた。

①仲田恭子氏（アートひかり）による、上記の講演会が、松本和也教授によって企画・開催された。こちらは、2023 年度から続く一連の講演会である。詳細は、『ニューズレター』5号を参照されたい。

②浮世絵や絵本などの出版物における表現方法に焦点をあてた作品の調査・研究が、藤澤茜准教授によって行われた。大河ドラマでも注目される江戸時代の板元、蔦屋重三郎から売り出した喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎の作品分析を行ない、「蔦重が育てた人気絵師をひも解く 歌麿・写楽・北斎」（『歴史人 2025 年 2 月号 特集「蔦屋重三郎の真実」ABC アーク 2025 年 1 月刊行）として発表した。

③2024 年 9 月 7 日（土）と 8 日（日）、名古屋学芸大学において、客員研究員 伏木啓教授による現代アート作品（パフォーマンス）の制作と、水川敬章准教授による参与観察が行われた。本作の第 1 形態となる『Between the Linesのためのスタディ-Feb. 2025』が、2025 年 2 月 21 日（金）にゲネ公開、22 日（土）に上演された（於神奈川大学みなとみらいキャンパス 1 階、ナレッジコア）。

（文責：水川敬章）